新宿海上ビル診療所 室賀 一宏　日本TCM研究所 安井 廣迪

芍薬甘草湯

傷寒論

組 成	芍薬 3〜6g, 甘草 3〜6g
主 治	肝陰不足・肝気乗脾・筋脈拘急
効 能	柔肝解痙・緩急止痛

プロフィール

芍薬甘草湯は、『傷寒論』太陽病上篇の最後の条文に登場する処方で、「脚攣急」に用いるように指示がある。日本では吉益東洞(1702〜1773)以来、しばしば用いられるようになった処方で、現在でも医療用漢方製剤のみならず、一般用医薬品としてもよく用いられている。『朱氏集験方』(1491)には、去杖湯と言う名称で「脚弱無力、行歩艱難を治す」とある。細野らによって薬理学的研究が行われた最初の漢方処方としても知られている[1〜5]。

方　解

芍薬は肝血を補い、肝陰を収斂し柔肝する。甘草は補脾し、緩急止痛に働き、両者によって陰血不足による筋脈の痙攣を抑える働きがある。基本的に肝脾不和に対する調和肝脾の剤である。

四診上の特徴

『腹証奇覧』を始めとする多くの書物には、腹診で腹皮拘急が見られるとの記載がある。激しい急性の痛みにはこれに耐えて腹皮攣急することが多いが、慢性的なものには必ずしも腹直筋の攣急は著明でないものがあるようであると矢数は述べている[5]。細野は、「身体の筋肉の攣急は単に骨格筋に限らず、消化管や胆嚢、気管などの内臓平滑筋においても、攣縮があると判断すれば著効を得ると考えられる。」と述べている[1]。これを元に、中田は下記のように使用目標をまとめている[6]。

1) こむら返りをはじめ全身の骨格筋の痙攣と引きつれ。
2) 内臓平滑筋の痙攣による疼痛。胃腸、胆嚢、胆管、尿管、尿道、子宮、気管などの筋肉攣急による疼痛。
3) 腹証としては腹直筋の緊張を認める。(腹直筋の緊張を認めないときでも内臓平滑筋の痙攣が疑われたり、骨格筋の痙攣・強直を認める場合には応用可)

使用上の注意

甘草の含有量が多いため、漫然とした使用で偽アルドステロン症を発症しやすく、低カリウム血症による脱力[7]や不整脈[8]、横紋筋融解症[9]を生じることがある。服薬を中止することにより数日でカリウム値は正常化する。利尿剤など、副作用の生じやすい併用薬にも注意を払う必要がある。また、肝障害[10]や出血傾向を示した[11]報告もある。

臨床応用

1. 有痛性筋痙攣(こむら返りなど)

基礎疾患の有無、種類によらず、ゴルフや山歩きなど各種運動の際に生じたこむら返りに対して即効性があり、広く用いられている。橋爪らは、脊椎疾患を基礎にもつ患者41例に投与し、ほぼ全例著効ないし有効(有効率98%、著効率51%)であり[12]、さらに、投与量や用法(頓服か定期内服)を検討した報告では、投与量2.5g以下で有効な者が80%、定期的な内服が56%であったとしている[13]。また、熊田らは、プラセボ対照二重盲検法で肝硬変患者に生じるこむら返りに対して有意に予防したと報告している[14]。さらに、血液透析患者に生じる透析中、透析後のこむら返りにも有効で[15]、英文を含め数多くの報告がある。この他、妊婦のこむら返りや[16]、顔面痙攣[17]にも用いられることがある。

2. 整形外科領域

橋口らは、夜間痛を有する肩関節周囲炎患者30例に対し芍薬甘草湯を投与したところ、21例で効果がありVASの値も有意に改善し、軽度ながら可動域も改善したと報告している[18]。宗藤は腰痛や坐骨神経痛などの痛みに対する治療経験を報告している[19]。

3. 神経内科系疾患

筋緊張性ジストロフィー症では、西洋薬と同等の効果が得られ[20]、下肢痙性による歩行障害が改善し歩けるようになった報告[21]がある。パーキンソン病では、早朝起床時に生じる有痛性足ジストニーの発症を予防したり[22]、筋肉のこわばりや痛みのため生じる睡眠障害に対し、眠前に本方を内服し睡眠が改善された報告もある[23]。

脳血管障害の後遺症に本方が有効なことがある。前島らは、多数の脳血管障害患者の中で26例のこむら返りと77例の吃逆に対し芍薬甘草湯を用いて、こむら返りは73%で、吃逆では96%と高い有効性を示したと報告している[24]。

4. 消化器領域

有地らは、胆石など各種腹痛を総合した効果の検討では57例中著効11例、有効20例、やや有効13例であり、胃潰瘍など各種胃痛では47例中著効20例、有効9例、やや有効8例であったと述べている[25]。吃逆に芍薬甘草湯を使用した報告も多い。一般の吃逆の場合、通常量の投与でも軽快することがあるが、10gを一度に内服する方法もある[26]。化学療法後[27]、脳幹梗塞[28]でも効果が見られる。

近年は、上部、下部の消化管の造影もしくは内視鏡の前処置として用いられることがある。消化管の蠕動運動を抑制し[29]、疼痛を軽減する効果も期待でき、その効果はブスコパンと同等との報告がある[30]。

5. 産婦人科

田代は、月経痛の患者29例に対し疼痛時に内服せしめたところ、著効3例、有効15例、無効11例であった。さらに無効例を中心に月経開始5～7日前より1日1回の内服を継続したところ、その有効性が上昇したと報告している[31]。月経困難症の場合、当帰芍薬散と本方を月経周期に応じて使用することで月経痛が改善するのみならず、排卵の誘発、妊娠の維持などの効果も見られたとの報告もある[32]。

不妊症にはいくつか原因があるが、その中で多嚢胞性卵巣(PCO)、高プロラクチン血症、高テストステロン血症の場合に芍薬甘草湯を併用すると有効であるという報告がある[33]。この他、早発排卵不妊症では良好卵胞率が上昇し妊娠例も得られた報告もある[34]。

6. その他

抗がん剤のパクリタキセルの副作用として知られる筋肉痛、関節痛に対して芍薬甘草湯を用いることで、症状が軽減することが知られている[35]。

泌尿器科領域では、尿管結石の治療に本方が用いられる。井上らは、芍薬甘草湯と非ステロイド性消炎鎮痛剤(NSAIDs)の効果を比較した。その結果、内服後15分の時点で芍薬甘草湯群、NSAIDs群ともに痛みは軽減していたが、芍薬甘草湯群の方が有意に鎮痛効果が高かったと述べている[36]。また、体外衝撃波結石破砕術の際に芍薬甘草湯を内服していると、衝撃波の平均発射回数がコントロール群に比較し有意に低下するという報告もある[37]。

相澤は、14～30歳の尋常性痤瘡の女性19例に対し本方を12週間投与して効果を検討した。その結果、血中testosterone値、free testosterone値が有意に低下し、丘疹の数は変化が見られなかったが面疱数と脂漏の自覚症状は改善を示したと述べている[38]。

【参考文献】

1. 細野史郎 ほか: 芍薬甘草湯の研究(第一報), 日東医誌, 3(1): 1-9, 1953
2. 細野史郎 ほか: 芍薬甘草湯の研究(第二報), 日東医誌, 5(4): 1-8, 1955
3. 細野史郎: 芍薬甘草湯の臨床薬理について, 漢方の臨床, 3(9・10・11): 558-565, 1956
4. 細野史郎 ほか: 芍薬甘草湯の研究(第四報), 日東医誌, 7(2): 12-16, 1956
5. 矢数道明: 芍薬甘草湯及びその類方の臨床研究, 日東医誌, 15(1): 6-10, 1964
6. 中田敬吾: 芍薬甘草湯, 漢方研究, (426): 181-187, 2007
7. 渡部朋幸 ほか: 芍薬甘草湯により代謝性ミオパチーをきたした1例, 内科, 95(1): 183-185, 2005
8. 堂上友紀 ほか: 芍薬甘草湯により意識消失発作を来した1例, 呼吸と循環, 50(4): 431-435, 2002
9. 本間真人 ほか: 芍薬甘草湯による横紋筋融解症の一例, 医療薬学, 31(1): 77-80, 2005
10. 中井隆志 ほか: 芍薬甘草湯含有市販漢方胃腸薬による薬剤性肝障害の1例, 日消誌, 95(12): 1374-1377, 1998
11. 穴吹弘毅: 芍薬甘草湯によって出血傾向をきたした1例, 漢方の臨床, 52(6): 887-888, 2005
12. 橋爪圭司 ほか: 痙攣性の疼痛・愁訴に対する芍薬甘草湯の効果, 漢方と最新治療, 7(3): 259-264, 1998
13. 橋爪圭司 ほか: 「こむら返り」に対する芍薬甘草湯の維持量について, 痛みと漢方, 18: 35-39, 2008
14. 熊田 卓 ほか: TJ-68ツムラ芍薬甘草湯の筋痙攣(肝硬変に伴うもの)に対するプラセボ対照二重盲検群間比較試験, 臨床医薬, 15(3): 499-523, 1999
15. 山下淳一: 透析患者の透析中, 透析後の筋攣縮痛に対するツムラ芍薬甘草湯の効果について, 痛みと漢方, 2: 18-20, 1992
16. 伏木 弘: 妊娠中のこむら返り(筋クランプ)に対するツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒の有用性について, 産婦人科漢方研究のあゆみ, 26: 54-56, 2009
17. 木村裕明 ほか: 顔面痙攣に対する芍薬甘草湯の効果, 診断と治療, 79(11): 2505-2508, 1991
18. 橋口 宏 ほか: 肩関節夜間痛に対する芍薬甘草湯の有効性, 東日本整災会誌, 16: 60-62, 2004
19. 宗藤正理: 整形外科領域での芍薬甘草湯の使用経験, 第27回千葉東洋医学シンポジウム抄録: 44-46, 2000
20. 増井義一 ほか: 筋緊張性ジストロフィー症のミオトニーに芍薬甘草湯が有効であった一例, 日東医誌, 46(5): 773-778, 1996
21. 橋爪圭司 ほか: 芍薬甘草湯が有効であった中枢性痙縮の2例, 日東医誌, 47(5): 833-836, 1997
22. 佐々木石雄 ほか: 有痛性足ジストニーに対し芍薬甘草湯が著効したパーキンソン病2例, 漢方医学, 29(1): 18-19 2005
23. 佐々木石雄 ほか: パーキンソン病における睡眠障害に対する芍薬甘草湯眠前投与の有用性, 日本東洋心身医学研究, 24(1/2): 29-32, 2009
24. 前島貞裕 ほか: 脳神経外科領域における芍薬甘草湯の効果について: 吃逆・有痛性筋攣縮, 脳神経外科と漢方講演記録集, 1: 64-65, 2003
25. 有地 滋 ほか: 芍薬甘草湯の医薬学的研究及び臨床効果について, 基礎と臨床, 11(11): 3121-3131, 1977
26. 堤美千代 ほか: 芍薬甘草湯が有効とおもわれた吃逆の4症例, 診断と治療, 74(7): 1469-1472, 1986
27. 松波馨士 ほか: がん化学療法の副作用, 吃逆に対する芍薬甘草湯による治療, 漢方医学, 36(1): 50-53, 2012
28. 原田雅史 ほか: 脳幹梗塞に起因した難治性吃逆に芍薬甘草湯が奏功した2症例, 東邦医学会雑誌, 59(3): 133-137, 2012
29. 相 正人 ほか: 大腸内視鏡検査における芍薬甘草湯(TJ-68)の腸管収縮抑制効果に関する検討, Prog. Digestive Endoscopy, 62(2): 45-49, 2003
30. 仲野俊成 ほか: 上部消化管内視鏡検査の前処置についての検討, 臨床と研究, 66(11): 3638-3640, 1999
31. 田代眞一: 芍薬甘草湯の月経痛への応用と薬効の個人差に関する薬理学的根拠, 産婦人科漢方研究のあゆみ, 13: 30-34, 1996
32. 中島聡子 ほか: 挙児希望の重症月経困難症患者に対する排卵誘発療法: 芍薬甘草湯/当帰芍薬散交互周期的投与療法, 産婦人科漢方研究のあゆみ, 19: 71-74, 2002
33. 高橋健太郎 ほか: 芍薬甘草湯(TJ-68)の多嚢胞卵巣(PCO)に対する臨床的検討, 産婦人科漢方研究のあゆみ, 7: 33-38, 1990
34. 假野隆司 ほか: 早発排卵不妊症に対する芍薬甘草湯の有効性, 産婦人科漢方研究のあゆみ, 21: 69-71, 2004
35. 杉田匡聡: 芍薬甘草湯による抗がん剤の副作用防止効果, 第27回千葉東洋医学シンポジウム: 48-53, 2000
36. 井上 雅 ほか: 尿管結石による疝痛発作時の芍薬甘草湯の効果, 日東医誌, 62(3): 359-362, 2011
37. 吉田 実: 体外衝撃波結石破砕術(ESWL)における芍薬甘草湯の併用効果, 漢方と最新治療, 18(2): 157-160, 2009
38. 相澤 浩: 痤瘡に対する芍薬甘草湯の臨床的効果, 漢方診療, 15(6): 25-28, 1996